

# 南丹教育局NEWS

京都丹波の教育  
特別号 令和8年4月

今回は、南丹教育局の役割と南丹教育局ならではの取組をご紹介します。  
まず、京都府教育委員会と各市町（組合）教育委員会所管の学校・園との関係は、次のようになっています。



## ◆南丹教育局の役割

京都府教育委員会の地方機関として、各課・担当が主に次の4つの役割を担い、それを果たせるように日々努めています。

支える

教育活動が安定して展開できる環境を整え、学校の取組や教職員を「支え」ます。

伝える

国や京都府の重要な施策や教育の方向性、市町（組合）教育委員会や学校・園の思い等を「伝える」役割をとおして、地域全体での理解促進を図ります。

つながる  
つなげる

学校や園同士のみならず、地域との連携や協働を強化します。

地域ならではの  
教育振興を図る

地域の特徴を生かし、そこに根差した教育や地域の活性化を推進します。

## ◆南丹教育局の課・担当と主な業務

### 管理的な業務

- ・教職員の服務や人材育成、任免
- ・教職員の給与や共済組合、旅費 など

総務課

学務課

### 企画教育課

学校教育担当

社会教育担当

### 指導的な業務

- ・学校教育に関する指導や助言、援助
- ・地域や社会教育団体との連携事業 など

幼小中高連

は管内すべての

学校・園が主体

の組織

### ◆幼小中高連の概要

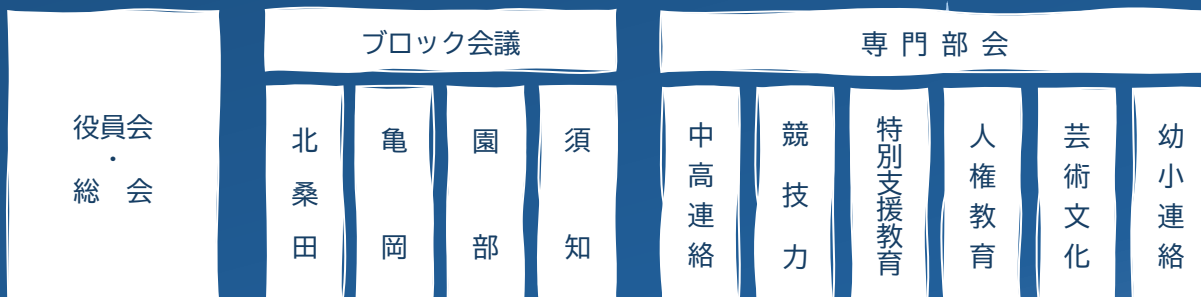
幼児・児童・生徒の発達と学びの連続性を確保し、校種間連携のもと、地域全体で子どもを育てることなどを目的とした管内すべての“学校・園が主体”となって取り組む組織です。平成16年度に発足した他局にはないオンリーワンの組織で「口丹の子どもは口丹で育てる」「口丹で子どもが育つ」を合言葉にしています。南丹教育局は「事務局」として、幼小中高連の取組を支えています。

### \* この取組の強み \*

- ・校種を越えて学校間での柔軟な連携ができる
- ・自校での教育課程を超えた学びの機会をつくる
- ・地域の活性化

### ◆幼小中高連の組織

管内すべての公立学校・園により、4つのブロック会議と6つの専門部会が組織されています。



### ◆各専門部会の主な取組

**中高連絡部会**では、府立学校と中・義務教育学校が連携し、高校合同説明会（「Let'sふれあい」「Let'sすた〜と」）などを開催しています。

**人権教育部会**では、人権学習の公開授業を参観し、先生方が実践的に学ぶことができる研修会などを開催しています。

**競技力部会**では、体力・運動能力の向上と交流機会の充実を図るため「京都丹波キッズふれあい駅伝」などを開催しています。

**芸術文化部会**では、幼児・児童・生徒の作品が一堂に集う貴重な学び場として「京都丹波美術工芸教育展」を開催しています。

**特別支援教育部会**では、障害のある子どもの支援について関係機関が協議し、特別支援教育と支援体制を推進する地域の連携を図るための協議会を開催しています。

**幼小連絡部会**では、園と小学校が連携し、発達と学びの連続性を図るため「未来へつなぐ架け橋研修会」などを開催しています。

### ◆幼小中高連会長からひとこと

これまでの歴史と先人の思いを受け継ぎながら、時代に応じて進化し続けることが求められています。幼稚園から高校までのすべての教職員、そして家庭や地域が同じ方向を向き、子どもたちの未来を支え、口丹波の地域の活性化を目指すために連携をさらに深めていきたいと考えています。